

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成21年 4月21日

## 【評価実施概要】

事業所番号	272100991		
法人名	社会福祉法人西寿会		
事業所名	グループホームはまなす		
所在地 (電話番号)	〒038-2412 青森県西津軽郡深浦町轟木字津山91 (電話) 0173-74-3855		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成21年3月19日	評価確定日	平成21年4月21日

【情報提供票より】(平成21年2月1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 17年 4月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	7 人	常勤	7人, 非常勤 0人, 常勤換算 7人

### (2) 建物概要

建物構造	木造平屋建造り		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	6,000 円	その他の経費(月額)	6,000 ~ 冬期7,500 円	
敷金	有( ) 円 (無)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( ) 円	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	250 円	昼食	350 円
	夕食	300 円	おやつ	100 円
	または1日当たり 1,000 円			

### (4) 利用者の概要(2月1日現在)

利用者人数	9 名	男性	1 名	女性	8 名
要介護1	1 名	要介護2	2 名		
要介護3	5 名	要介護4	1 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 86.8 歳	最低	82 歳	最高	90 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	鱒ヶ沢町立中央病院、湊谷歯科
---------	----------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>白神山地を背に、日本海の絶景を一望できる小高い丘の上に設置され、夏には夕日の沈む水平線を望むことが出来る。同一敷地内には特養、デイサービス、ショートステイなどの社会資源が整備されている。「笑顔・一家団欒・敬愛・優・輪」という理念を掲げ、ホームの随所にも飾られて利用者も職員も目にして日々協力して生活している。職員は熱意を持って利用者に関わっており、その熱意は地域住民にも伝わっており、随時立ち寄ってくれたり、防災訓練などでは協力体制がきちんと確立されている。</p>
--

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の評価を全職員で話し合い、理念は抽象的な言葉をかみくだき分かりやすくして事あるごとに職員同士で話し合われていた。また、抽象的な単語の理念は額縁に入れてホームの各所へ飾り、いつでも誰でも見れるような形にして積極的に改善を行っていた。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>ホーム職員は全員、外部評価の意義を理解し、その上で全職員で話し合いを持ちホームの自己評価を行っていた。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>行政や民生委員、家族などにも積極的に働きかけ取り組んでいる。会議の中では日々の取り組みや外部評価での意見、またそれに対する改善点を報告し多数の意見を汲み上げている。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)</p> <p>家族との連携は密に取られており、受診・健康状態・本人の訴えなど随時報告している。またそれに対する意見を汲み上げるような声掛けを行っている。その他、ホーム便りを毎月発行しており随時連絡以外にも定期的に情報発信を行っている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>防災面では、年2回併設施設で総合避難訓練を行う時に地域の消防分団、婦人会、自治会が参加して協力体制を整えている。またホーム付近を散歩していると地域の方々が気軽に声掛けしてくれて、農作物のおすそ分けをくれたりする。</p>

## 2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人創設者の理念である「敬愛」をもとにして、職員と一緒に話し合い、分かりやすい事業所独自の理念を掲げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ホーム内のいたる所に掲示し、常に目につくようにしている。採用時に説明する他、声かけや介助など日々の関わりの中でも意識し、取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	散歩した際にホーム近くの畑で農家の方と挨拶を交わしたり、話をしたりしている。冬場は、地域の婦人会等に来てもらい、漬物作りなどを通じた交流がある。また、母体施設の夏祭りなどの行事を通じた地域の方とのふれあいや避難訓練への参加など協力関係にある。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>全職員で話し合いを重ねながら自己評価を行っている。外部評価の意義を十分理解し、評価内容をもとに改善に取り組んでいる。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>3ヶ月に1回開催され、日々の取り組みや外部評価結果などについて報告している。会議で出た意見については全職員に周知して検討し、次回の会議までに報告するようにしている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>母体施設が以前より行政と連携を図って福祉活動を行っていたため、ホームも行政との協力関係が深い。町で月2回開催するサービス担当者会議やケア会議にケアマネが参加している。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>外部研修や母体施設での研修に参加し、制度の理解が深まるよう努めている。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>マニュアルを作成している他、外部研修、内部研修に職員を参加させている。また、虐待に関するニュース等があった際には、朝の申し送りで話題にするなど、全職員が日々意識するよう取り組んでいる。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>家族との連絡を密にすると共に、契約時、理解と納得が得られるよう十分に説明している。また退居の際の情報提供も行っている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>状態や通院についてはその都度報告しているほか、ホーム便りを毎月郵送し、暮らしぶりを伝えている。金銭管理については定期的に報告し、サインをもらっている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会時や状態報告時などに家族と話し合う機会を持ち、意見を寄せやすいように常に声がけしている。また、ホーム内外の苦情窓口について重要事項説明書に明示している。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員が代わる場合は、入居者に説明すると共に引継ぎの期間を設け、対応している。同敷地内に母体施設があるため、合同の行事などでたびたび行き来する機会があり、徐々に顔なじみになったり、異動した職員も声がけしたりしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
13	17	職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	出来るだけ全職員が参加できるよう計画し、研修参加後は他職員へ伝達している。資格取得できるよう勤務調整し、協力している。		
14	18	同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他事業所のケアマネと定期的に連絡を取り、情報交換している。		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
15	23	馴染みながらのサービス利用  本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気にならぬよう家族等と相談しながら工夫している	事前に見学してもらい、相談しながら入居につなげている。母体施設の利用者が入居するケースが多く、事前に短時間でも過ごしてもらいながら徐々に馴染みの関係を築いている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は料理や畑の作り方等を教えてもらったり、食事の準備や片付けなど一緒に行ったりして、共に協力しあいながら、生活できるように工夫している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>本人、家族から情報収集し、思いや意向を把握している。また、母体施設のサービス利用後に入居している方が多く、生活歴、希望等の情報収集がスムーズに行われ、活用されている。</p>		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>ケアマネと各担当が家族からの意見をもとに話し合い、カンファレンスを行い、計画を作成している。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>期間に応じて見直されており、カンファレンスへ家族の意見もきちんと反映されている。また状態変化の際には、再アセスメントし、見直しを行い家族の意見を大切にしながら計画している。</p>		<p>モニタリングを取り入れてプランを見直すことにより、利用者のニーズや必要とするサービス内容がより深いものとしてプランに反映されるので、様式として取り入れることを期待する。</p>
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>遠方から来られた家族が泊まれるように和室を提供するなど、状況や希望に応じて柔軟に対応している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
21	40	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>希望するかかりつけ医で受診している。家族の同意のもと、通院介助し、通院後は家族へ報告している。</p>		
22	44	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>主治医と連携し、必要に応じて母体の嘱託医の協力も得られるよう体制を整えている。</p>		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>地域のなじみ言葉で声がけし、利用者を尊重した言葉遣いや態度である。また広報誌は家族の同意を得た上で作成し、家族のみに配布するなど、個人情報の取り扱いにも配慮している。</p>		
24	49	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一人ひとりの体調に配慮した上で、本人のペースを大切に、希望にそえるよう対応している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>利用者からの意見を聞きながら、グループホームの栄養士が献立を作成している。食事の用意や片付けを一緒に行い、また一緒に食べることで、食事が楽しみなものになるよう工夫している。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>決められた入浴日(月・水・金)以外でも利用者の希望があれば、対応できるようにしている。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>生活歴を把握し、食事の用意や後片付けなどの役割を持ってもらったり、趣味である手芸等をしてもらったりして、張り合いや楽しみごとのある生活ができるよう工夫している。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>近所の散策や買い物その他、地元のねぶた見学など、随時外出できるよう支援している。</p>		



外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>母体施設との合同研修を行い理解を深め、身体拘束のないケアに取り組んでいる。</p>		
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>日中は鍵をかけていない。職員のさりげない見守りと声かけがされ、自然な雰囲気の中で生活している。</p>		
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>年4回の防災訓練の他に、5月26日の地域全体の訓練に参加している。併設施設と総合避難訓練を行う際には、地域の消防分団、婦人会、自治会にも参加してもらい、協力体制を整えている。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>栄養士がカロリーや水分量を計算し、献立を作成している。必要に応じて摂取量を記録している。</p>		
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>母体施設と合同の対策委員会に職員が参加し、勉強会など開催している。また、マニュアルを作成し、予防対策に努力している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p><b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b></p>					
<p><b>(1) 居心地のよい環境づくり</b></p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共有スペースには十分な採光があり、明るい雰囲気を利用者が過されている。また庭にある野菜や花が見え、季節を存分に感じることが出来る。立地している地域や景観を生かした工夫がなされている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室内の配置等については、本人の意向を大切にしている。馴染みの品物を持ち込んでもらい、居心地よく過ごせるよう工夫している。</p>		

 は、重点項目。